

当社グループは2019年に、10年後のありたい姿として「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」を目指して、経営ビジョン「Next 10」を定め、長期的な企業価値向上に向けて経営しています。

その中で、新型コロナウイルス感染症の影響、世界的な脱炭素社会への加速などによる外部環境の激変への対応に対し、環境・エネルギー負荷を軽減する事業を注力領域とした「サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネの取組」を実践し、脱炭素社会・環境価値の創出に貢献していきます。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年12月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

仲南工場の炭素生産性を、10.63%向上させる。

丸亀第五工場の炭素生産性を、10.98%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

計画初年度に、仲南工場にて、2023年12月に新技術を取り入れた偏光板保護用アクリルフィルム製造設備を新設することにより、生産性向上と省エネルギー化を実現。

計画2年度（目標年度）に、丸亀第五工場にて、2024年1月に重油焚蒸気ボイラーを熱回収ヒートポンプとガス焚蒸気ボイラーに更新し燃料転換を図ることにより、CO2排出量及びエネルギーコストの削減に寄与。

これらの取組により、目標年度に、炭素生産性を仲南工場で10.63%、丸亀第五工場で10.98%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<仲南工場全景>



<取組の主な製品（仲南工場）>

液晶ディスプレイの断面（TV駆動方式IPS用事例）

